私のスナップ

三原　利之（豊島）

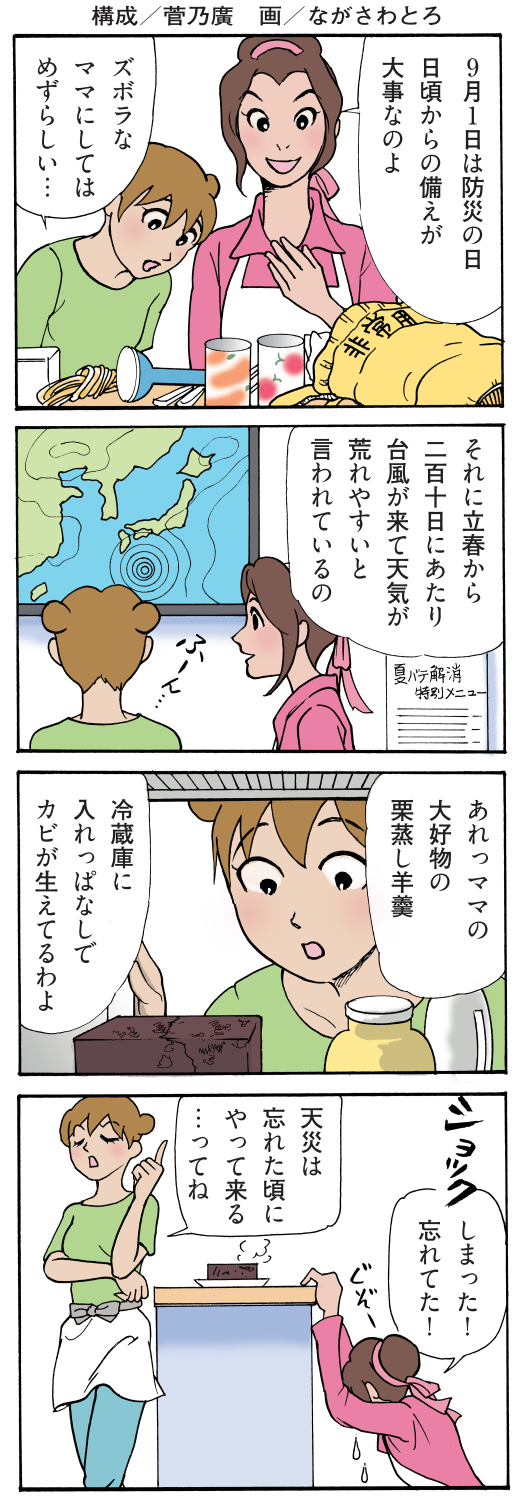
仕事で移動中に携帯電話が鳴る。電話の主は、日頃お世話になっているN先生。「わたし、東京税政連の仕事もしていて今回写真の話があって、写真といえばあなたしかいないと思い電話しました」自分が？半ば強引な結びつけのように感じたが、大先輩のご指名ということでお引き受けすることにした。

肝心の写真は、主題が自由ということもあり、悩んだが、PC内のストックを探すとクラシックカーイベントの写真を発見。今回の写真はこんな経緯で選定したものだ。クラシックカーイベントといえば、縁のない方も少なくないように思う。若者の車離れが指摘されているが、実はクラシックカーはブームのようである。ほとんどのクラシックカーイベントは、参加希望者が後を絶たず、希望しても参加できないケースも珍しくない状況である。今や当時の職人たちが創り出した車は、現代の芸術品であり、車種によっては投機の対象にもなっているようである。

より身近になったクラシックカーたち、保有することに抵抗がある方も少なくないとは思うが、クラシックカーイベントに足を運び、見るだけならハードルも低いだろう。この写真をきっかけにより多くの方々がクラッシックカーを見て、そのエンジン音を聴きながら童心に帰っていただければ幸いである。

ほのぼの喫茶室【防災の備えは万全！？】

構成／菅乃廣　画／ながさわとろ



～風を読む～　後援会便り

税理士による越智隆雄後援会を設立　東京6区

「税理士による越智隆雄後援会」は、7月11日、設立総会を銀座アスター三軒茶屋賓館において開催した。

設立総会では、40人が結集し、規約、役員人事を満場一致で承認した。会長には稲屋嘉男会員（世田谷）、幹事長には佐々木省三会員（世田谷）が就任した。

来賓挨拶では、選挙区内に居住する東京税理士会・神津会長が駆けつけ、「国民のための租税制度、中小企業の活性化を担っている税理士・税理士会は、その改善進歩を求めていくために、政治との結びつきが大事であり、後援会活動は重要である。当面の問題としては、消費税の複数税率導入、法人税引き下げに伴う課税ベース拡大の動向に対し、中小企業の健全な発展を阻害することがないよう理解を求めたい」と述べた。

内藤会長から後援会旗を贈呈される越智議員

本連盟から来賓として出席した内藤会長は、後援会旗を贈呈し、「国民のための租税制度の確立に理解ある国会議員等の後援会の設立を推進しているが、議員が安心して政治活動に専念できるように後援会の充実をお願いしたい」と挨拶した。

越智議員は、後援会設立に対する謝辞と、「国会議員は選んでもらった人の代弁者であると同時に、政治家の発言は、事実9割と意見1割として、政治、政策への理解を求めていくことも重要な仕事と考えている。中小企業政策の重要性は、銀行勤務経験や所属委員会における活動を通じて十分に認識しているつもりであるが、さらに中小企業の実態を知る税理士の声を聞いて努力したい」と抱負を述べた。

（文責・広報委員会）

ぎょえん

禁煙して3年が経過した。喫煙時代は、30年間、一日平均1・5箱の喫煙を続けてきた。

3年前のがん検診で肺に異常ありと判定された。喫煙歴も長いことから肺がんの疑いが高いと周囲から脅かされたため、まずは精密検査が終わるまでということで、生まれて初めての禁煙生活が始まった。

幸いにして、検査の結果は特に異常は無かったが、検診のたびにハラハラドキドキするのも嫌なので、これをきっかけに長い喫煙生活に終止符を打った。

しかし最初の1年間は夢の中で煙草を吸ってしまい「あっ、しまった」と悔やみながら眠りから覚めることが多かった。最近はそれもなくなった。

先日、「去年の日本人の平均寿命が男性は80・21歳で世界第4位に、女性も86・61歳と2年連続で世界第1位となった」と新聞に掲載されていた。医療技術の高さや食生活の改善、そして禁煙などによる健康志向の高まりが影響しているのだろう。

禁煙の副作用なのか去年の健康診断ではメタボ予備軍からメタボに昇格してしまった。あまり自信はないが、今度はダイエットに挑戦してみようか。

（H・K）

訃報

ご冥福をお祈りいたします

香山　磐根氏（麻布）
本連盟相談役。幹事長、副会長を歴任。元麻布税政連会長
平成26年5月7日85歳

横田　昌司氏（玉川）
元玉川税政連会長
平成26年6月21日84歳

藤澤　富太郎氏（神田）
元推薦審査副会長。神田税政連会長幹事長を歴任
平成26年7月8日85歳

Support 2014　1口　5000円

税政連　サポート募金ご協力をお願いします。

「税政連サポート募金」は政治資金規正法の関係上、個人の税理士の方を対象としております。法人にお勤めの方がお振込をされる場合は個人名をご記入下さいますようお願い申し上げます。また、個人の方についても日本国籍を有する方に限らせていただきます。（規正法第21条、第22条の５）

日本税理士共済会は、税理士どうしの助け合いからはじまりました。

昭和28年、西日本地方を襲った大水害を契機に業界で最初に生まれた税理士どうしの助け合い。それが原点です。

営利を目的とせず、税理士によって運営され、一貫して税理士とその家族、事務所職員の皆様の共済事業を行っております。

現在、4つの保障と3つの年金制度を柱にニーズに合わせた各保険をご用意しています。

加入申込受付中！

税理士とその配偶者のための **おしどり保障**

個人年金保険料控除適用 **個人年金**

詳細は8月下旬にお届けしたダイレクトメールをご覧下さい。
（資料請求はTELにても受付しております。）

詳細のお問合せ お申込みは

日本税理士共済会
〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番8号 日本税理士会館5F
TEL 03-5740-0321
FAX 03-5740-0323
e-mail:jim@zeirishikyosai.com
http://www.zeirishikyosai.com
税理士共済会　検索